



## オホーツクの楽園 — 北海道オコッペ町 —

オムサロ原生花園は北海道のオホーツク海沿岸の網走と稚内の中間にあるオコッペ町（興部町）にある。花園と言っても色んな花が植えられた庭園ではない。単調な海岸の砂丘に広がる草地である。一年の半分近くは雪に覆われる。雪がなくても花のない時期には一面緑の草原が広がるだけである。そんな殺風景な花園ではあるが1年に一か月だけ（6月上旬から7月上旬）本当の花園に変身する。ハマナス、エゾカンゾウ（ニッコウキスゲ）エゾスカシユリ、ヒオウギアヤメなどの可憐な花に覆われる。そして東南アジア方面から数千キロの旅をしてやって来た可愛いく警戒心をあまり持たない野鳥たちがすぐ近くで見事な囀りを聞かせてくれる。オホーツクの薫風と花の香りに包まれ楽に野鳥たちの写真を撮れるこの場所は私にとっても楽園である。去年は紋別市のホテルを拠点にして五日間この花園の中で1日7時間くらいを過ごした。至福の時間であった。この間に右の女性に出会った。自転車にテントや食糧、衣服など合計30kgを超える荷物を積み野宿をしながら世界を旅している。前回はバンコクからプサンまで、今回は稚内から那覇まで旅をしているという。北海道でクマに襲われないか心配したが1日50キロくらいのペースで11月には那覇に到着したとのこと。母国オーストラリアで4ヶ月ほど休んだ後、今はアメリカ大陸横断中。連日インスタグラムでその様子を伝えてくれる。五日間の一人旅であったが、厳しい自然の中で生きる草花や鳥たちとパワフルな女性と出会い何か生きる力をもらえた気がした。



### 谷澤秀行氏（カット写真撮影）プロフィール

- S. 26 大阪市阿倍野区生まれ
- S. 45 京都大学農学部林学科入学
- S. 46 同休学 一年間遠洋漁業に従事 インド洋でマグロを追う
- S. 49 卒業研究で一年間ツキノワグマを追う
- H. 22 24歳から経営してきた事業を譲渡  
以降駿河湾で鯛や平目を追う、各地で野鳥を追う、小球を追う